

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 算 数 】
<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な正答率は、全国や府の平均をやや上回っている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する問題の正答率は全国や府の平均を下回っている。 ・「言葉の特徴やつかいかたに関する事項」や「情報の扱いに関する事項」は、全国や府の平均を上回っている。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では「ことばの力を育む」をテーマに、研究に取り組んできた。授業の中で、各学年で学習する用語を正しく使い、習得できるようにしていることや、朝の学習の時間に、各学年の学習課題に合わせた「ことばのプリント」に取り組んできたことが、成果につながっている。 	<p>全体的な状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な正答率は、全国や府の平均とほぼ同等である。 ・記述式の問題の正答率が、国や府の平均をやや下回っている。 ・図形領域の正答率は、国や府の平均を上回っている。 <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの問題も無回答率が大変低く、問題に対する前向きな気持ちを感じられる。 ・$66 \div 3$の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考える問題の正答率は、全国や府の平均を大きく上回っている。
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」に関する問題に課題が見られた。中でも、複数の条件を満たして文をまとめることに課題がある。 ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の書く場面では、条件を提示し、日頃から条件を満たして書くことを積み重ねていく。 ・書く時のポイントを確認するために、例文を使い、完成のモデルを示すことで、児童が見通しを持って書く活動に取り組めるようにする。 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立式はできているが、その求め方と答えについて式や言葉を用いて記述したり、その結果からどの条件に当てはまるかどうかを判断したりすること、また、数のグラフから見出した違いを言葉と数を用いて記述することに課題が見られる。 <p>課題解決に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記述式問題に課題が見られるため、自分の考えを書く時間を設け、答えにたどり着く過程をみんなで考える時間を大切にしている。 ・自分の考えやわかったことを友だちに伝えることで、自分の学びを確かなものにしていく。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目(当てはまると答えた割合)	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	89	73	77	自分には、よいところがあると思いますか	73	82	84
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	80	71	69	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習)	58	63	71
国語の勉強は好きですか	76	59	62	一日当たりの勉強時間が30分より少ないか、全くしない(月曜～金曜)	33	27	16

全体的な状況

- ・自分とは違った意見にふれ、交流する中で、考えを深める学習ができています。
- ・家庭でも学校でも、大人に相談できる環境があり、安心して学校生活を送ることができています。
- ・意欲的に学習に取り組んでいる。特に国語科の学習において、関心をもって取り組むことができています。

成果

- ・自他を認めあえる集団づくりを進めてきたことで、違った意見を出し合える安心感が児童の中に生まれている。
- ・「確かなことばの力を育む」を研究テーマに、学校全体で授業改善に取り組んできた成果が表れ始めている。

課題

- ・「先生はよいところを認めてくれる」「人が困っているときは、進んで助けている」など、肯定的な解答が多い反面、自分に自信がもてない児童が見られる。
- ・与えられた課題に対しては真面目に取り組むことができるが、自ら計画を立てて学習に取り組む時間が短い児童が多い。

課題解決に向けた取組み

- ・今後も、違った意見を大切にできる集団作りに励み、結果だけでなく、取組みの過程も大切にしていける。
- ・自主勉強ノートを活用し、自分で課題(めあて)を設定し、学習に取り組む機会を作っていく。

○保護者のみなさまへ(全体を通じて)

・今回の調査において、本校では「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童がたいへん多いという結果が出ており、規範意識や道徳心が育まれていると考えられます。これは、学校の教育活動だけの成果ではなく、ご家庭でも対話を大切にしてくださいなど、ていねいに関わっていただいていることが、健やかな育ちにつながっているものと考えています。

また、学習状況調査における生活面での問いに、「寝る時刻や起きる時刻が決まっている」という回答が、全国平均を5～6ポイント上回っています。ご家庭で、「早寝・早起き・朝ご飯」を大切にしてください。子ども達は学校で元気いっぱい活動ができ、「学校に行くのは楽しい」(全国平均を6ポイント上回っている)につながっているのだと思います。

・全国学力調査の問題は、長い文章を読み進めながら問題で問われていることを解釈し、表現することが問われます。基礎的な学力(読み、書き、計算)はもちろん、それ以外にも読む力、書く力、最後まで粘り強く課題に向かう力など、様々な力が必要とされます。学校では、国語科で説明文や物語文の教材を使って読む力や書く力をつけ、そこでつけた力を他教科にいかす授業づくりをめざして、研究を進めているところです。

・今後も、全ての教科学習において、児童が授業のゴールを意識しやすいめあての提示や、授業の「ふりかえり」に学びの跡を残し、「わかる！できる！やってみよう！」と思える授業づくりに取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、日々のお子さまの学校でのようすを語り合ってください、明日への意欲につながる温かい言葉かけを引き続きよろしくお願いいたします。